

令和7年度クラブ員募集開始!!

三川少年少女発明クラブ



◆募 集：4名（定員18名）

※応募多数の場合は家庭単位で抽選とさせていただきます。

◆対 象：三川町内の小学4年生～6年生まで

◆場 所：主に クラブハウス

（押切新田字豊秋 258-4 テニスコート隣り）

◆活動日：月2回程度、主に 土曜日の午前中（年16回）

◆年会費：3,000円（保険料含む・材料費が別途かかる場合もあります。）

各町内会まで
バス送迎
いたします！



アイデア工作



自動車解体体験



ロボット制作



創作ドミノ倒し



発明クラブ
コンテスト

お申し込み方法

受付期間：4月8日（火）～4月20日（日）

新規入会申込みをインターネットで受け付けます。二次元コードを読み取るか
次のURLにアクセスして、申込みフォームからお申込みください。

<https://logoform.jp/f/8ypqp>



問合せ先 教育委員会 社会教育係 ☎ 64-8310（テオトル内）



主な活動計画(予定)

5月 開講式(平日の夜開催)	10月 楽しい☆科学実験
6月 自動車まると1台ぶっこわし体験	11月 工場見学または体験学習
発明くふう展に向けたアイデア作品づくり	12月 ロボット制作
7月 コンテストに向けた作品づくり	1月 創作ドミノ倒し
県少年少女発明クラブコンテストに参加	2月 閉講式(平日の夜開催)
9月 未来の科学の夢絵画制作	(全16回)

※制作した作品は「山形県発明くふう展」「未来の科学の夢絵画展」などに出品します。

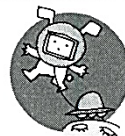
クラブ員の声

昨年度活動したクラブ員の感想文を紹介します。
みんなの参加を待ってるよ！

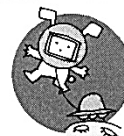
私は、今年「アイデアを形にする」という事を頑張りました。普段の活動で発明のヒントを得り、言式行錯誤をしながら出来た作品が賞に選ばれて良かったです。また、日常でも大切な事を教えてくれました。例えばこれは不便なもの、便利につかえないかなと思う事も大切なと教えてくれました。中学校でもこの教えを忘れないで頑張りたいです。(6年女子)



初めてこのクラブに入ってみて一番楽しかったのはロボット作りです。ロボットを作るとかいてはとてつもない大変な事が多くて、最初は自分でも作れなかったけど、先生から教えてもらって、自分でも作ることができました。初めは自分でも作れなかったけど、先生から教えてもらって、自分でも作ることができました。初めは自分でも作れなかったけど、先生から教えてもらって、自分でも作ることができました。(5年男子)



今年始めて発明クラブでWで賞をとれたので良かったです。夢絵画ではラジコン賞、科学の力でつぎは県知事賞をめざしてがんばります。来年もWで賞をとりたいです。(4年女子)



おうちの方へ ●少年少女発明クラブとは...

少年少女発明クラブは、公益社団法人発明協会創立70周年の記念事業の一環として、昭和49年(1974)にスタートした事業です。発明クラブ誕生のきっかけを作った人物は、当時の発明協会会長でソニー創業者の故・井深大氏です。同氏の熱意は、たちまち多くの賛意を得て全国に展開し、現在まで受け継がれています。

現在、全国215のクラブで約11,000名の子どもたちと約2,800名の指導員が活動しています。三川町では平成4年(1992)の発足以来、町の人気事業として定着しています。

●学校教育とは一味違う活動で「創造力豊かな子」を育みます！

子どもたち主体の活動の場です

学校では先生に教えてもらうことが中心ですが、発明クラブは自分の意思で集まった子どもたちのための課外活動の場です。「工作がしたい」「発明がしたい」といった意欲をもった子どもたちが、のびのびと自由に発想し、主体的に学びながら楽しんで活動をしています。

さまざまな分野の経験豊かなボランティア指導員

発明クラブの活動はボランティアの指導員によって支えられています。日ごろから指導方法・教材の研究・指導員間や発明クラブ間で情報交換などを積極的に行って、熱心に取り組みながらも子ども達とのふれあいをとても楽しみにしながら活動していただいています。

発明クラブは地域と共に歩んでいます

活動で使用する木材・電子部品などの資材については地場を支える企業からのご好意で提供いただくなど、町ぐるみで子どもたちの成長を支援する場となっています。